



京都切り絵歳時記

月刊

あじenda 11月

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじendaは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です



事務所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F 活動支援室内
TEL: 075-647-3535 FAX: 075-647-3536
E-mail: ma21f@mbx.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
京都市環境局地球温暖化対策課内
TEL: 075-222-4037 FAX: 075-222-4039

KES認証事業部 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
京都工業会館2F TEL/FAX: 075-323-6686
E-mail: kesma21f@mbx.kyoto-inet.or.jp

<ホームページ> <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>

京都市地球温暖化対策条例 3つの義務がスタート 10月より 省エネラベルの義務付けも

京都市地球温暖化対策条例に定められた3つの義務が、10月1日にスタートしました。フォーラムでは、条例を意識した活動の推進を今年度の活動方針としています。条例を絵に描いた餅にしないため、義務が発生する事業者の皆さんには条例遵守のご協力を、また市民の皆さんには、日常生活における地球温暖化防止に向けた取組を進めていただきたいと思います。皆で協力して、条例に掲げる目標「2010年までに1990年比CO2の10%削減」を達成しましょう。

【スタートする3つの義務】

●大規模事業者の方：特定事業者排出量削減計画書、特定事業者排出量削減報告書の提出

●大規模建築物を新築、又は増築される建築主の方：特定建築物排出量削減計画書、特定建築物工事完了届出書の提出

●家電販売店の方：特定排出機器（エアコン）のエネルギー消費効率等の表示、説明

*フォーラムや様々なNPO、事業者・販売店等の協力で生まれ、全国に広まった「省エネラベル」の表示が義務付けられます。詳しくは京都市HPをご覧ください。

<http://www.city.kyoto.jp/kankyo/ge/zyoureikisoku/kisoku.htm>



1万人の京都自転車散歩 11月3日（木・祝）～6日（日） 京都の秋を自転車で満喫してください！

自転車はエコロジカルで健康的、そして経済的な交通手段です。そんな自転車がさらに利用できる社会を目指して活動している団体が集まり、「1万人の自転車散歩」を開催します。皆さん、どうぞご参加ください。

■自転車ガイドツアー

（市内8コース 上京区・中京区・下京区・東山区・左京区・右京区）地元詳しいガイドがお供します。

【拠点（予定）】

KCTP（京都駅北西）、トーヨーサイクル（上桂）、清水自転車（常盤）、ジャム（妙心寺北）、きゅうべえ下鴨（下鴨）、マルニ（浄土寺）、ヤマネ（竹屋町通堀川東入る）

*日時：11月3日（木・祝）～6日（日）10:00～16:00

*料金：提携レンタサイクル利用 無料、一般 500円（ツアーグッズ費・企画期間中有効）でいくつでも、ツアーを楽しんでいただけます。

*所要時間：各コース2時間

※11月4日（金）は実施されないツアーがあります。ご了承ください。

■自転車 Do! Cafe in 京都

自転車ユーザーをつなぐ交流イベントです。

*日時：11月6日（日）17:00～20:00（プレ企画は13時～）

*場所：新風館（烏丸通三条上る東側）中庭にて

●主催：全国自転車ネットワーク準備委員会、自転車Do!、エコサイクル・マイレージ

共催：京のアジェンダ21フォーラム、NPO法人環境市民、京都サイクリングツアープロジェクト（KCTP）、京都自由学校、京都サイクリング協会、のろ～なくらぶ

●お問合せ先：1万人の京都自転車散歩・実施本部

（有）市民空間きょうと内（担当：山田）

TEL/FAX 075-213-4495

東山交通社会実験について

～誰もが安全で快適に歩けるまちにできたら～

今年も、昨年に引き続き「東山交通社会実験」が11月に実施されます。本実験の実施に当たり計画等を協議する「東山交通対策研究会」には、当フォーラム環境にやさしい交通体系の創出ワーキンググループから恩地惇さんが委員として参加されています。今回は、前回から拡充等された取組として、次の3つがあげられ、いずれも11月19・20・26・27日に行われます。

1. 五条坂の車両交通規制：

昨年度の結果から明らかとなった交差点内に残る進入（東大路通や五条通から）、自動車対策としてバス・タクシーを除く車両規制

2. 路上駐停車の抑制エリアの拡大：

今年度の追加エリア（馬町）、昨年度からの継続エリア（祇

園・東山安井・清水道・五条坂）

3. シャトルバスの運行の経路変更とバス停の設置：

京都駅～五条坂間のシャトルバスのより円滑な運行のために西洞院通経由を烏丸通経由へ変更、京都駅前のバス停到着までの京都駅交差点の渋滞対策のために1つ手前のバス停として「烏丸七条」を設置

特にシャトルバスは昨年好評であり、今回、運賃220円均一で、実験日の9時～18時に10分間隔で運行されます。

今回の実験がただちに五条坂の歩行者優先道路化につながるものではありませんが、自家用車から公共交通に乗り換えて行く新しい京都の観光スタイルのアピールができます。紅葉のシーズンは1日乗車券などを利用して公共交通機関でお出かけしませんか？

Agenda Forum

11月の
ミーティングと
主催行事の予定

11月1日（火）15:00～18:00

11月2日（水）18:00～20:00

11月16日（水）10:00～12:00

11月22日（火）15:00～17:00

戦略検討委員会（京都市教職員互助会館おいけ第一会議室）

エコミュージアムWG会議（洛西境谷会館）

エコツーリズムWG会議（場所未定）

企業活動WG会議（場所未定）

*フォーラム事務局は11月3日（木・祝）は開所、11月4日（金）は閉所となります。



第1回、第2回 戦略検討委員会 報告

10月4日(火)に第1回会議、10月18日(火)に第2回会議を開催しました。フォーラムがより望ましい方向にいくよう、真剣な議論を行いました。

第1回委員会では、“これまでの成果とフォーラムの役割”をテーマとして、フォーラムがこれまで何をしてきて何を達成できたかについて、共有しました。

第2回委員会では、“人、組織、活動を「つなぐ」フォーラム”をテーマとし、フォーラムにとって会員とは何か、会員にとってのフォーラムとは何かについて議論を深めました。

<11月の議題(予定)>

○第3回会議 11月1日(火)

テーマ：フォーラムの「情報」機能

○第4回会議 テーマ：インキュベータ(事業化支援)としてのフォーラム

○第5回会議 テーマ：フォーラムの枠組と方向づけ
*傍聴できます。関心のある方はフォーラム事務所までお問い合わせください。

KESかんきょうレポートコミュニケーション賞(仮称)・企業賞コンテスト

応募期間 2005年10月17日～11月30日

パートナーシップ、コミュニケーションを大切にする事業所を表彰します。

京都市は今年も環境問題に熱心に取り組んでいる市民等を来年2月に京都環境賞で表彰します。この表彰に当フォーラム企業活動ワーキンググループが協力することになりました。特別賞として、KESかんきょうレポートコミュニケーション賞(仮称)、企業賞を設け、表彰を行います。

●KESかんきょうレポートコミュニケーション賞(仮称)：京都市内のKES認証取得事業所(学校等も含む)で、かんきょうレポートを作成し、従業員間や地域、市民とのコミュニケーションに活用している、または今後活用していく予定にしている事業所。

●企業賞：

京都市内の企業。例えば学校で環境教育を行う、NP0と連携して社内で環境家計簿をつけるなど、地域や市民とパートナーシップをもって環境問題に取り組んでいる企業。

自薦、他薦問いません。多くの応募をお待ちしています。

*賞金 ○KESかんきょうレポートコミュニケーション賞(仮称) 5万円(1事業所) ○企業賞 5万円(1事業所)

*応募方法

・KESかんきょうレポートコミュニケーション賞(仮称)：KESかんきょうレポート、応募用紙(団体用)を作成の上、地球温暖化対策課まで送付、またはご持参ください。(11月30日必着)

・企業賞：応募用紙(団体用)を作成の上、地球温暖化対策課まで送付、またはご持参ください(11月30日必着)。

KESかんきょうレポートの書式は、フォーラムKES認証事業部のHP

(<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/data/01.htm>)

から、また応募用紙(団体用)は、京都市役所環境局地球温暖化対策課のHP

(<http://www.city.kyoto.jp/kankyo/ge/ecoprize/H17/17kaisi.htm>) から、それぞれ

ダウンロードできます。ご希望の方には郵送いたします。

*お問合せ先：京都市役所環境局地球温暖化対策課
TEL 075-222-3452

◆「KESかんきょうレポート」とは：

KESに基づき取り組んでいる環境活動の内容・成果を内外に報告するレポートです。これにより、社会からの企業・組織に対する信頼を得るとともに、従業員の自社の環境問題に対する関心を高めることができます。また、環境改善の成果が上がらなくてもその事実を公表することで、「信頼できる企業」という評価を得ることができます。



財団法人京都オムロン地域協力基金より、助成決定

財団法人京都オムロン地域協力基金より、ヒューマンかざぐるま賞受賞団体の活動を支援する目的として、40万円の助成金をいただくことになりました。

1. 大原野森林公園「森の案内人」自然ガイドマップ制作、

二つのマップ制作に活用

2. 「1万人の京都自転車散歩」におけるマップの制作

の2事業で、それぞれ20万円助成していただきます。それぞれの事業内容については次号以降の『月刊あじえんだ』で紹介します。

< KES 認証事業部より > ★ 9月の新規認証取得 2005年10月1日現在

※確認審査合格企業の詳細については、ホームページ(<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm>)をご参照ください。

ステップ1

- KES1-0340 株式会社鳴海餅本店(京都市上京区)
- KES1-0341 京都ブライトンホテル株式会社(京都市上京区)
- KES1-0342 ホテルフジタ京都(京都市中京区)
- KES1-0343 株式会社多川製作所(石川県かほく市)
- KES1-0344 明立電機株式会社(京都府宇治市)
- KES1-0345 株式会社片山工務店(京都市山科区)
- KES1-0346 第一スーパー工業株式会社(京都市右京区)
- KES1-0347 株式会社あおぞら印刷(京都市中京区)

ステップ2

- KES2-0162 アマテイ株式会社本社工場(兵庫県尼崎市)
- KES2-0163 八洲物産株式会社(大阪市北区)
- KES2-0164 株式会社秋田製作所(京都市南区)
- KES2-0165 株式会社セントラル情報センター(名古屋市中区)
- KES2-0166 イズテック株式会社(京都府亀岡市)
- KES2-0167 株式会社ライフモールド(京都府宇治市)
- KES2-0168 大牟田電子工業株式会社(福岡県大牟田市)

事務局短信

宮沢賢治の作品を読みました。生きものたちに対する優しさを感じられ、読んでいて心が暖かくなります。彼の故郷の花巻では、だいたい秋深くなっていることでしょう。(小山直美) / 秋の観光シーズン到来! 京都観光はゆっくり歩きの似合います。そこで生まれるふれあいや感動が「京都ファン」をつくるのです。(滋野浩毅) / 10月1日に、第6回京都青年中央会祭CAPフェスタ(<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/cap/festa/capfesta6.html>)に参加してきました。KESを通じてえこまっすりWGの取組を知ったという実行委員長を中心に、リユース食器を使い、ゴミを出さない取組が熱心に行われており、活動の広がりを感じて嬉しかったです。(竹村光世)